

令和3年3月12日

那賀町教育委員会教育長 殿

木頭小・中学校長 谷 浩行

学校評価結果報告書

日頃は本校教育活動に多大のご支援ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、2月に保護者に対してアンケート調査を行い、木頭学園の教育活動に対する満足度を調査いたしました。集計結果をもとに、令和2年度の学校評価をまとめましたので報告いたします。

1 調査内容

16項目（中学校は17項目）の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

A そう思う B 大体そう思う C あまりそう思わない D 思わない

学校評価（小・中学校保護者）		28																				
		A・・・そう思う					B・・大体そう思う					C・・・あまりそう思わない					D・・思わない					
小中学校集計(保護者)																						
評価内容		A	B	C	D	無	A	B	C	D	無	A	B	C	D	無	A	B	C	D	無	
1	本校の子どもは、あいさつができています。	11	16	1	0	0	1	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%	0.0%										
2	本校の教職員は、生活・行動面の指導を適切にしている。	8	16	4	0	0	2	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%										
3	学校は、子どもに道徳性を育成するため取り組んでいる。	10	17	1	0	0	3	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%	0.0%										
4	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	11	16	1	0	0	4	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%	0.0%										
5	家庭で、人権問題や学校での人権学習について話し合うことがある。	5	15	6	2	0	5	17.9%	53.6%	21.4%	7.1%	0.0%										
6	学校は子どもと向き合い、子どもや保護者からの相談に丁寧に対応している。	8	18	2	0	0	6	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%										
7	学校は教育方針、家庭への連絡、情報提供に努めている。	14	11	3	0	0	7	50.0%	39.3%	10.7%	0.0%	0.0%										
8	本校の教職員は、学力向上のため指導方法を工夫している。	9	17	2	0	0	8	32.1%	60.7%	7.1%	0.0%	0.0%										
9	自分の子どもは、授業がよくわかり楽しいと言っている。	7	12	9	0	0	9	25.0%	42.9%	32.1%	0.0%	0.0%										
10	子どもは家庭で本や新聞を読んでいる。	3	8	11	5	1	10	10.7%	28.6%	39.3%	17.9%	3.6%										
11	学校は、感染症対策や防災教育等、命を大切にする取組を積極的に行っている。	12	13	3	0	0	11	42.9%	46.4%	10.7%	0.0%	0.0%										
12	子どもは将来に向けて、夢や希望をもっている。	5	19	4	0	0	12	17.9%	67.9%	14.3%	0.0%	0.0%										
13	学校は、保護者や地域の願いに応えようとしている。	4	20	4	0	0	13	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%										
14	子どもは地域の行事に参加している。	10	16	1	1	0	14	35.7%	57.1%	3.6%	3.6%	0.0%										
15	学校は、「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛する心を育てるように努めている。	16	11	1	0	0	15	57.1%	39.3%	3.6%	0.0%	0.0%										
16	学校は、小中一貫校の特色をいかした取組を行っている。	13	13	2	0	0	16	46.4%	46.4%	7.1%	0.0%	0.0%										
17	子どもは、目標をもって、部活動に取り組んでいる。	5	4	3	0	0	17	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%										

2 考察

肯定的回答（A・Bで回答）が約85%であり、全体的に保護者の満足度は高いと言える。なかでも、設問7（情報提供）については「Aそう思う」が50.0%に達している、従来の学年便りや学校便りの発行による情報提供だけでなく、今年度は特にホームページでの情報提供をこまめに行ってきたことが成果として現れているのではないかと考える。学校から地域に対しては「木頭学園便り（地域の皆様へ）」を紙媒体で、木頭支所の回覧板を通じて校区全戸に配付している。紙媒体による情報提供は、地域住民に高齢者が多いという理由によるが、保護者は比較的良好に学校のホームページを見ているようである。その他、肯定的回答が96.4%得られた設問として、設問1（あいさつ）、設問3（道徳性）、設問4（いじめ）などを挙げるができる。今後も引き続き児童生徒の道徳性と人権感覚を豊かなものとするよう常に意識をして取り組みたい。

今年度人権教育については、学習したことの内容を可能な限り家庭に伝え、親子での話し合いが充実することを目標としたが、設問5（人権に関する話し合い）では「Cあまりそう思わない」が21.4%あり、来年度も引き続き重点課題としたい。

学習面に関する設問は、設問8（学力向上）、設問9（授業の分かりやすさ）、設問10（新聞・読書）がある。設問8の肯定的回答は92.8%と高いものの、設問9については、「Cあまりそう思わない」が32.1%となっている。学力向上の手立てが授業の分かりやすさに結びついていないのではないかと懸念がある。年度当初から新型コロナウイルスによる臨時休校が続き、例年と比べれば授業時数が少なく、進度が速かったということも考えられる。また、昨年度と同様に、設問9についても今後の課題としたい。

本校では、学校目標「ふるさとを愛し、次世代を心豊かにたくましく生きる児童の育成」を掲げ、総合的な学習の時間を中心に「ふるさと学習」を積極的に推進している。めざす子ども像は、令和元年度当初に見直しをして、「志を立て、自ら主体的に学ぶ子ども」「相手を思いやり、ともに支え合う子ども」「協働して、よりよい社会を創ろうとする子ども」の三点とした。機会を捉えて、学校教育目標やめざす子ども像の理解と共有を進めていきたい。本校が最も力を入れて取り組んでいる設問15「ふるさと学習」については、肯定的回答は96.2%となっている。A「そう思う」が57.1%という結果となり、昨年度の48.1%を上回る結果となった。来年度はコミュニティ・スクールが始まり、ますますと地域との連携が重要となるが、児童生徒が地域と関わるのは「ふるさと学習」が中心で、今後ますます充実させていかなければならないと考える。また、設問16（小中一貫教育）について、小中一貫校として来年度は5年目となるが、設問15と同様に「Aそう思う」という回答が多くなるよう今年度の反省をもとに小中一貫教育の取組も進めていきたい。

なお、設問17（部活動）は中学校の保護者のみに回答をいただいた設問である。

3 総括

令和3年度は新校舎が完成して10年目となる。徳島県初の小中一貫校としては5年目を迎える。「ふるさと学習」を核とした小中一貫教育を一層推進し、小規模小中一貫校の強みを生かした教育活動を発展的に展開していきたいと考える。また、来年度からコミュニティ・スクールが開設される。地域との連携を一層深めていきたい。